



2023年度震災復興支援基金
「パール未来花基金」助成グループ報告会

東日本大震災「祈り」
実行委員会



パルシステム東京 震災復興支援基金「パル未来花基金」
「組合員への助成活動レポート」

震災復興支援基金「パル未来花基金」の助成を受けて、復興支援活動に取り組みました。その取り組みについて、組合員の皆さんにご報告します。

グループ名	東日本大震災「祈り」実行委員会
支援対象者・エリア	岩手県・宮城県・福島県
企画開催地	東京都
企画名称	自然災害からの教訓
実施期間	2023年4月23日～2024年3月11日

支援活動の目的・内容・感想

(どうしてこの活動をはじめたのか、どのようなことに取り組んだのか、取り組んだ感想など)

当委員会の発起人 Soul & Beat TEN-CHI-JIN は 2023 年結成 20 年を迎え、結成以来音楽と共に「不戦」を訴えております。

ところが、東日本大震災で自分たちのホームグラウンドである岩手県宮古市のレコーディングスタジオや岩手県釜石市のお稽古場が被災、そして多くの仲間も犠牲になりました。

私たちは自然災害の脅威に接し 2 か月間、ボランティア活動をおこないましたが、津波、火災でこげた土の中からけなげに咲いていた桜を見て、実行委員会を立ち上げ被災地から離れて西へ、海外へとコンサートで支援を募りました。

ワールドツアー先のスペインでは 400 年前に伊達政宗の家臣支倉常長が「慶長三陸沖地震」の復興のための貿易交渉にスペインを訪れていました。残念ながら実らなかったものの、当時渡ったサムライの子孫「ハポンさん」が数百人もおられるとの事でご紹介いただきました。

そして当委員会の所在する渋谷区道玄坂は、2023 年「関東大震災から 100 年」を迎えた復興の街で渋谷で唯一歴史文化を語れる街となりました。

このように多発してきた地震のさなか、日本人は負けないで復興力で歴史までもつくってきたことに勇気をいただき、同時にお伝えしております。また現在はスペインのハポンさん達ともスペイン大使館を通し国際交流に発展し、オンラインでコンサートも見て頂いております。

渋谷では、八子公の故郷秋田県大館市と交流をしており、渋谷区の小中学校のお米は大館市から送って頂いているそうです。悲惨な出来事の中でもメディアが伝えられない美談もたくさんあり、私たちは実体験で得た情報を音楽で伝え、人と人を繋ぐコンサートを続けて行きたいと思えます。

今回の 13 年間の配信映像でもご紹介しましたが、釜石防災センターは 11 メートルの津波が押し寄せ 200 数名もの方が亡くなり、現在「釜石祈りのパーク」となり犠牲者のお名前も刻まれております。

隣のラグビー場ではワールドカップも開催されるようになりましたが、この会場がその跡地であることを忘れないようにするのが私たち震災体験者の役割であり、これからも取り組んで参ります。

活動の様子（写真など）

活動レポート



検索



3.11 音楽で伝える「自然災害からの教訓」 Soul & Beat TEN-CHI-JIN

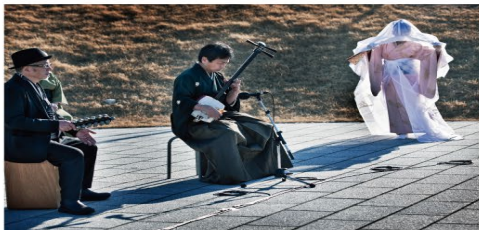
ライブ配信の様様



大槌町避難所体育館で雲漢のかけ声収録



大槌町赤浜海岸で待つハチ公



釜石祈りのパークで供養



関東大震災から100年と3.11のパネル展



音楽を通じて東日本大震災と向き合ってきた
Soul & Beat TEN-CHI-JIN。
3月11日をむかえるこの日、今までとこれからを考えます。

YOUTUBE ライブ配信 観覧無料

2024年3月11日 @ 14:00 スタート
<https://youtube.com/live/LF7vvfjogPg>

<出演>

JIRO OMA (Soul & Beat TEN-CHI-JIN)

Reiko NAWA (東日本大震災「祈り」実行委員会)



主催：東日本大震災「祈り」実行委員会
パルシステム東京 震災復興支援基金「パル未来花基金」の助成事業です